

松阪駅西地区施設整備事業について

【経緯】

松阪駅西地区（以下、「駅西地区」という）は、駅周辺地区における拠点機能向上に対応するため、平成 29 年 5 月に策定した「『豪商のまち松阪』中心市街地土地利用計画」（以下、「土地利用計画」という）において、「駅西地区における商業施設の誘致、行政窓口機能の充実と市民活動拠点の整備・活用」に向け、複合施設の導入を位置付けました。これを踏まえ、平成 30 年に市民とのワークショップを行い、平成 31 年 3 月には駅西地区における事業の基本理念や事業に求める条件（機能）を定めた「松阪駅西地区複合施設基本構想」（以下、「基本構想」という）を策定しています。

基本構想策定以降、少子高齢化・人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により来訪者が減少する一方、DX 推進による ICT・AI を活用したスマート化が進み、人々の生活様式は変化しました。また、建設分野では資材価格・人件費の上昇により建設費高騰が進み、都市整備の推進において大きな影響を与えています。

基本構想の実現には社会情勢の変化を反映したより具体的な方針が必要であることから、改めて基本構想の確認作業として、令和 7 年度に「駅西ワークショップ」を開催し、市民の皆さまからご意見を伺いました。

基本的な考え方に変化はなかったものの、防災機能など新たな視点からのご意見もありました。

それらを踏まえ、公共・民間エリアについて、再度検討を行い、防災への対応等による設計や使い方の自由度、補助金・交付金の活用、トータルコストの縮減など、また、事業者が参画しやすいことなどメリットが多く、松阪市としては、「民間エリア」は民間事業者が担い、「公共エリア」は市が担うことを基本に進める方針としました。

令和8年度は、この方針をもとに「公共エリア」の基本計画、基本設計をすすめていきます。

【過去のワークショップ】

■平成30年度ワークショップ開催

◎平成30年6月23日～11月17日の間に5回開催

- ・第1回 はじめまして～何をするワークショップか理解しよう～
(H30年6月23日開催) ※まち歩き 6月30日、7月1日実施
- ・第2回 中心市街地の魅力と課題と資源を共有しよう(7月21日開催)
- ・第3回 複合施設にほしい機能を考えよう(8月18日開催)
- ・第4回 各テーマに必要な機能を選び、アイデアを深めよう(9月29日開催)
- ・第5回 複合施設の基本構想をまとめあげよう(11月17日開催)

◎参加人数

- ・第1回 出席者 60名
- ・第2回 出席者 53名
- ・第3回 出席者 43名
- ・第4回 出席者 39名
- ・第5回 出席者 49名

■令和7年度ワークショップ開催

◎令和7年6月29日～10月4日の間に3回開催

- ・第1回 駅西ワークショップへの参加動機
駅西地区に期待すること (6月29日開催)
- ・第2回 導入機能や施設の建て方に対する「懸念・気になる点」
「希望やアイデア」 (9月6日開催)
- ・第3回 どんな使い方をしたい？賑わい形成に向けて、自分たちに
何ができる？ (10月4日開催)

◎参加人数

- ・第1回 出席者 23名
- ・第2回 出席者 28名
- ・第3回 出席者 27名